

く さ か

久坂くにえ通信



プロフィール 昭和 48 年 2 月生まれ O 型 聖心女子大学文学部英文学科卒業
観光厚生常任委員会・議会広報委員会・都市計画審議会・決算委員会所属
鎌倉市大船在住 民主党鎌倉市議会議員団所属

第13号 2006年4月

2月定例会は閉会しました

2月定例会が閉会しました。平成18年度の予算を審議する一般会計等予算特別審査委員会が今定例会中に行われ、会期は3月末までの2ヶ月間にわたりました。また、今定例会では代表質問が行われました。

■ 代表質問について

今定例会では7会派から代表質問が行われました。

民主党鎌倉市議会議員団では全員で、質問項目提出・内容検討を経て代表質問を作り上げました。

当然のように思われるこの手法ですが、先輩議員いわく「代表質問者となる人がほぼ1人で作り上げたこともある過去を思えば、団の総意がより反映されている質問となった」とのこと。

地域包括支援センター、コミュニティーの場づくり、障害を持つ方への雇用支援対策、渋滞緩和に係る交通政策、ごみ広域処理化、耐震強度偽装問題に関してのその後の対応などを質問項目として提出しました。

空き家を利用した、コミュニティーの場の創出に関しては、需要と供給のマッチングを今後さらに検討していくことが回答されました。耐震強度偽装問題への対応に関しては、管理組合にアンケート調査が行われる予定になっています。

ミニコラム①

中断...

答弁調整で委員会本会議がとま事があり、控室等で待ちます。



■ 平成18年度予算が可決されました

18年度は前期基本計画の初年度で、計画の主要事業は少子高齢化対策推進・安全安心まちづくり対策の充実・拠点整備の推進となっています。ごみ広域処理化に伴う、早期の逗子市との合意形成、母子家庭支援事業の対象者の拡大と雇用までのケア、高齢者の方向け福祉センターの開園時間の延長、介護保険利用者の増大に伴う介護度認定審査会の機能の拡大などを要望しました。

■ 定率減税廃止がもたらすものとは

今年度の鎌倉市民税歳入は、約 24 億円増える見込みとなります。不景気から脱しつつあるとはいえどうしてこんなに増えるの？という向きもあるでしょう。実は、約 10 億円が税制改正分に伴う増額分で、定率減税の段階的廃止も、それに大きく関わっているのです。

平成11年に小渕内閣が景気対策として導入した定率減税は、その年分の所得税額の20%相当額(最高限度額25万円)の所得税減税と、その年度分の所得割額の15%相当額(最高限度額4万円)の住民税減税を実施しました。

平成18年分からその定率減税のそれぞれの減税幅が半分に圧縮されます。全国単位で見れば、その増税額は平年度ベースで約1兆2,520億円(住民税は3,880億円)、個人住民税は平成18年6月徴収分から実質負担増になります。

全廃ということになると、平均的な家庭では年間約 18 万円の増税になると言われています。各控除の廃止が続く中、ますます一般家庭にとって厳しい財政状況が続きます

■ 緊急連絡通報システムが増備されます

18年度には、緊急連絡通報システムが 30 台増備されることになりました！その名の通り、このシステムは、1 人暮らしの高齢者の方に何かあった場合の、連絡用装置ですが、常時 10-20 人の貸出し待ちの方がいる状態でした。

昨年 6 月議会の一般質問で、このシステムの増備を要望しておりましたが、一挙に 30 台の増備が実現し、安心して暮らしていただける環境にまた一歩近づいたと感じます。

■ 浅尾慶一郎のさわやかトーク・カフェ

ラジオ日本 AM1422KHz

毎週日曜朝 7:30~8:00

経済・社会時事問題について、各界の著名人など多彩なゲストと浅尾慶一郎参議院議員が語りあうラジオ番組です。是非お聞きください！

第 2 回 4/16

ゲスト 東京学芸大学教授 山田昌弘氏


第 4 回 4/23、第 5 回 4/30

ゲスト:産業再生機構COO 富山和彦氏

ミニコラム②

中断パート2

ご存知の方もいると思いますが、再開・中断の繰り返しで定例会が1ヶ月かかった事もあるようです...

想像わきません... 

なんでも募集しています！

久坂くにえを応援して下さる方 話を聞いてみたい方 活動をお手伝い下さる方

久坂くにえサポーターズクラブ

〒248-0027 鎌倉市大船 2-10-25 TEL/FAX 0467-47-1905

メール:mail@kkusaka.net ホームページ: http://www.kkusaka.net